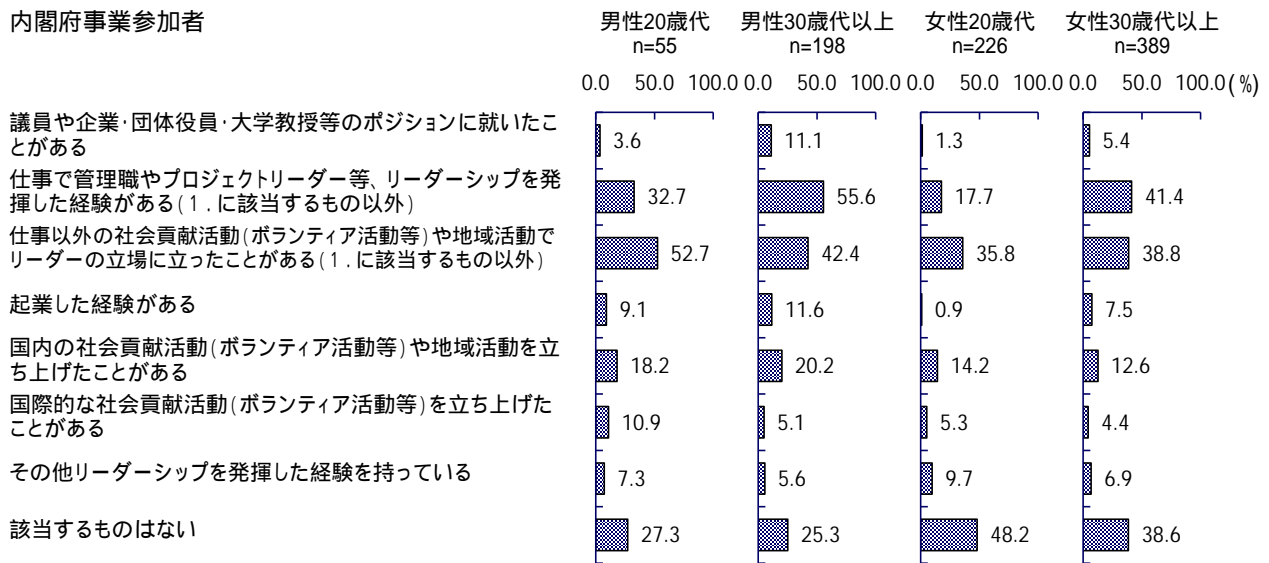


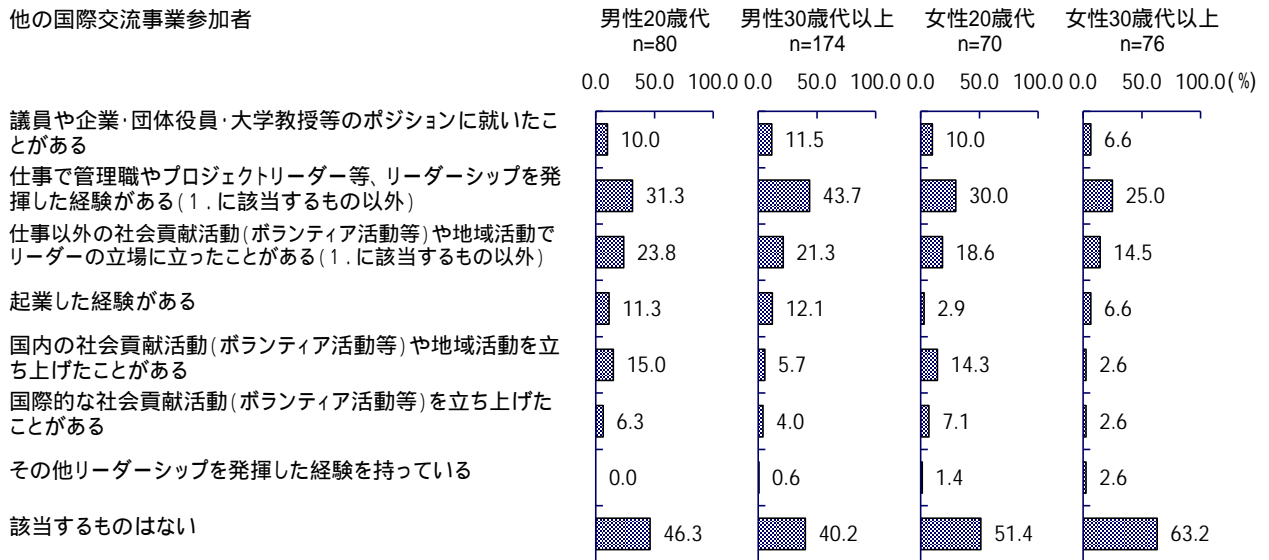
図表 6-22 仕事や仕事以外の活動においてリーダーシップを発揮した経験

< 性年齢（就業者のみ）別 >

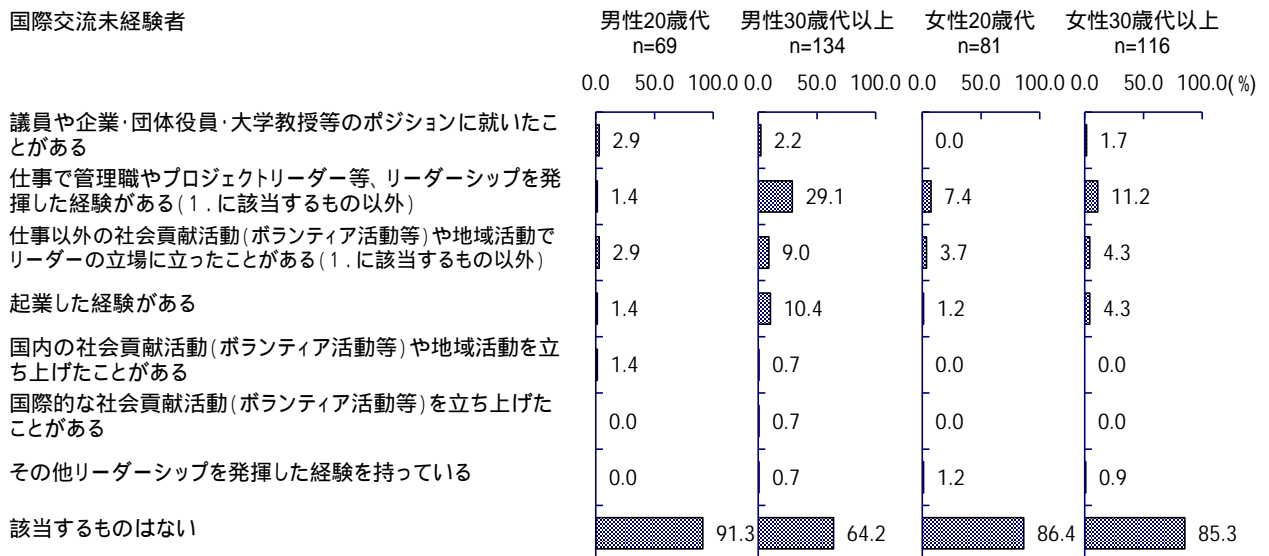
内閣府事業参加者



他の国際交流事業参加者



国際交流未経験者

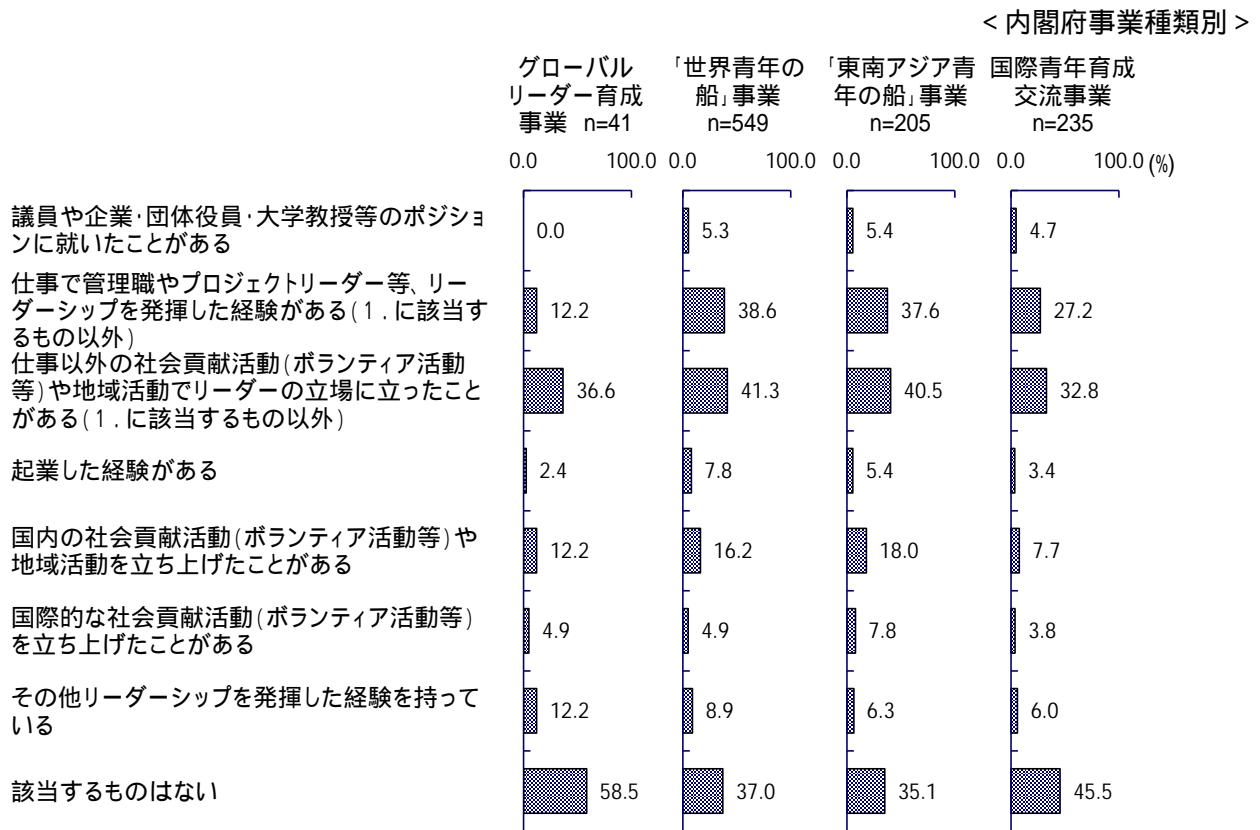


仕事や仕事以外の活動においてリーダーシップを発揮した経験を性年齢別（就業者のみ）にみると、「仕事で管理職やプロジェクトリーダー等、リーダーシップを発揮した経験がある（1.に該当するもの以外）」は内閣府事業参加者の男性30歳代以上で55.6%、他の国際交流事業参加者の男性30歳代以上で43.7%、国際交流未経験者の男性30歳代以上で29.1%などとなっている。

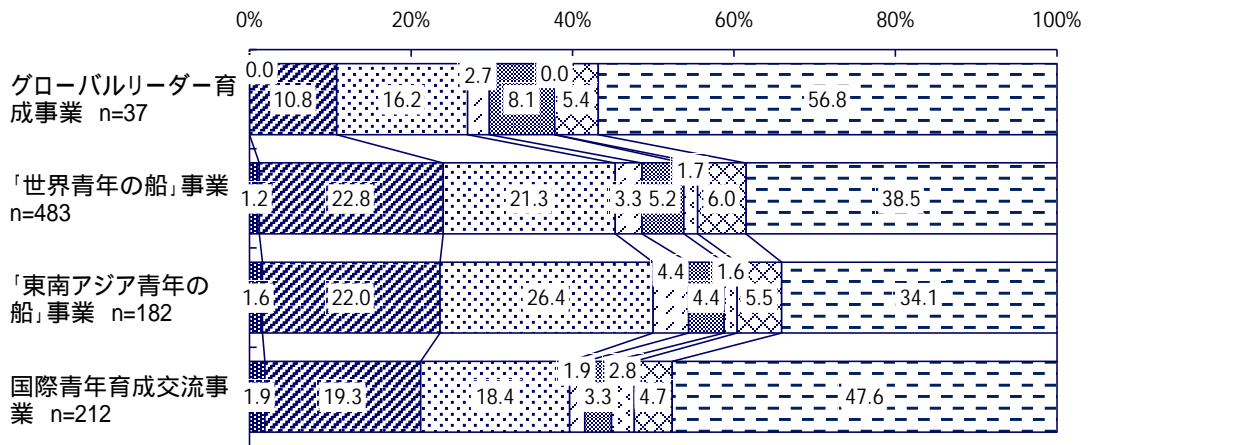
< 検定結果 >

			内閣府 他の事業	内閣府 未経験者	内閣府 未経験者
図表 6-22	議員や企業・団体役員・ 大学教授～	男性 20 歳代			
		男性 30 歳代以上		p < 0.01	p < 0.01
		女性 20 歳代	p < 0.01		p < 0.01
		女性 30 歳代以上			
	仕事で管理職やプロジ ェクトリー～	男性 20 歳代		p < 0.01	p < 0.01
		男性 30 歳代以上	p < 0.05	p < 0.01	p < 0.01
		女性 20 歳代	p < 0.05	p < 0.05	p < 0.01
		女性 30 歳代以上	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.05
	仕事以外の社会貢献活 動（ボラン～	男性 20 歳代	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01
		男性 30 歳代以上	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01
		女性 20 歳代	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01
		女性 30 歳代以上	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.05
	起業した経験がある～	男性 20 歳代		p < 0.05	p < 0.05
		男性 30 歳代以上			
		女性 20 歳代			
		女性 30 歳代以上			
	国内の社会貢献活動（ボ ランティ～	男性 20 歳代		p < 0.01	p < 0.01
		男性 30 歳代以上	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.05
		女性 20 歳代		p < 0.01	p < 0.01
		女性 30 歳代以上	p < 0.05	p < 0.01	
	国際的な社会貢献活動 （ボランテ～	男性 20 歳代		p < 0.01	p < 0.05
		男性 30 歳代以上		p < 0.05	
		女性 20 歳代		p < 0.05	p < 0.05
		女性 30 歳代以上		p < 0.05	
	その他リーダーシップ を発揮した～	男性 20 歳代	p < 0.05	p < 0.05	
		男性 30 歳代以上	p < 0.01	p < 0.05	
		女性 20 歳代	p < 0.05	p < 0.05	
		女性 30 歳代以上		p < 0.05	
	該当するものはない	男性 20 歳代	p < 0.05	p < 0.01	p < 0.01
		男性 30 歳代以上	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01
		女性 20 歳代		p < 0.01	p < 0.01
		女性 30 歳代以上	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01

【内閣府事業参加者】図表 6-23 仕事や仕事以外の活動においてリーダーシップを発揮した経験



最も自分にとって意義があったと感じる経験



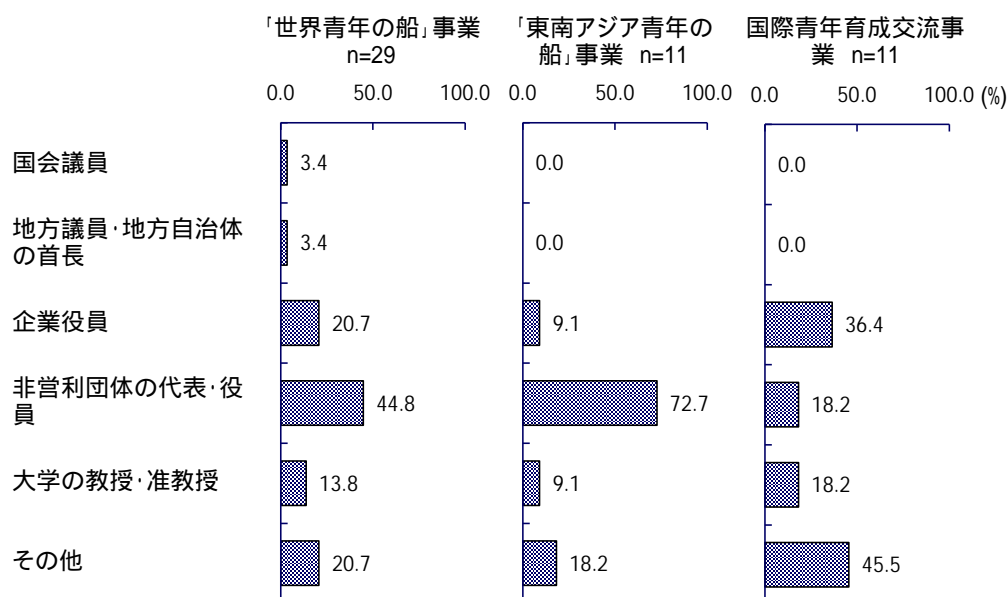
- 議員や企業・団体役員・大学教授等のポジションに就いたことがある
- ▣ 仕事で管理職やプロジェクトリーダー等、リーダーシップを発揮した経験がある(1.に該当するもの以外)
- ▣ 仕事以外の社会貢献活動(ボランティア活動等)や地域活動でリーダーの立場に立ったことがある(1.に該当するもの以外)
- ▣ 起業した経験がある
- ▣ 国内の社会貢献活動(ボランティア活動等)や地域活動を立ち上げたことがある
- ▣ 国際的な社会貢献活動(ボランティア活動等)を立ち上げたことがある
- ▣ その他リーダーシップを発揮した経験を持っている
- 該当するものはない

仕事や仕事以外の活動においてリーダーシップを発揮した経験を内閣府事業種類別にみると、「仕事以外の社会貢献活動(ボランティア活動等)や地域活動でリーダーの立場に立ったことがある(1.に該当するもの以外)」は、「世界青年の船」事業、「東南アジア青年の船」事業で40%以上となっている。

最も自分にとって意義があったと感じる経験については、「仕事以外の社会貢献活動（ボランティア活動等）や地域活動でリーダーの立場に立ったことがある（1.に該当するもの以外）」がグローバルリーダー育成事業で16.2%、「東南アジア青年の船」事業で26.4%などと割合が高くなっている。

【内閣府事業参加者】 図表 6-24 議員や企業・団体役員・大学教授等に就いた際のポジションの種類

<内閣府事業種類別>



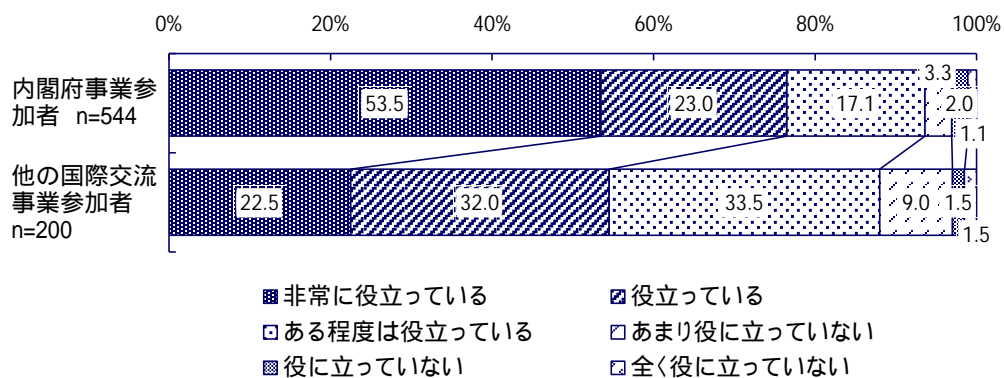
グローバルリーダー育成事業の参加者で「議員や企業・団体役員・大学教授等のポジションに就いたことがある」を選択はなかった。

議員や企業・団体役員・大学教授等のポジションに就いたことがある場合のポジションの種類は、「世界青年の船」事業、「東南アジア青年の船」事業では「非営利団体の代表・役員」が最も多くなっている。

(8) リーダーシップを発揮した経験において事業参加経験が役立っているか

問 26 【問 25 で「最も意義があった経験」として 1 ～ 7 を選んだ方のみ回答】問 25 で最も自分にとって意義があったと回答した経験において、内閣府事業へ参加した経験が役立っていると思いますか。
(は 1 つ)

図表 6-25 リーダーシップを発揮した経験において事業参加経験が役立っているか



内閣府事業参加者以外調査票では、「内閣府事業へ参加した経験」が「国際交流事業等へ参加した経験」となり、「他の国際交流事業参加者」が対象。

前問で最も自分にとって意義があったと回答した経験において、国際交流事業等へ参加した経験が役立っていると思うか聞いたところ、「非常に役立っている」が内閣府事業参加者で 53.5%、他の国際交流事業参加者で 22.5%、「役立っている」を合わせると各 76.5%、54.5%となる。

(9) リーダーシップを発揮した経験の内容、事業参加経験はどのように役立ったか

問 27 【問 25 で「最も意義があった経験」として 1～7 を選んだ方のみ回答】問 25 で最も自分にとって意義があったと回答した経験とは具体的にはどのようなものでしたか。また、その際に内閣府事業に参加した経験はどのように役立ちましたか。具体的にご記入ください。

内閣府事業参加者以外調査票では、役立った国際交流事業等に参加した経験については「他の国際交流事業参加者」が対象。

内閣府事業参加者 意見例

- ・最も意義があった経験：議員や企業・団体役員・大学教授等のポジションに就いたことがある
 - * 広く世の中を見る視点を養うことができました。
 - * 内閣府事業に参加した際に語学力の低さを痛感し、その後に勉強したこと。
 - * 幾つもの国政府を通して教育開発政策活動にコンサルタントとして、そして研修実施者として関わり、専門家の世界そのものや、社会システム、政治、文化などが異なる場所で自分のスキルをどのように活かし、現地の人とあり方を尊重して慎重にかつ積極的に物事に関わった。事業で得た異文化コミュニケーション力やマネジメント力が役に立った
- ・最も意義があった経験：仕事で管理職やプロジェクトリーダー等、リーダーシップを発揮した経験がある
 - * 業務で現在管理職で、チーム内の取りまとめ、社内他部署との折衝や取りまとめ、社内横断チームのプロジェクトリーダーを務める。外資系なので、外国人との協業も多い。ただ、事業に派遣されてからすでに 20 年近く経過しているため、事業の経験が直接役立っているわけではない。
 - * 現在の仕事では社内の取りまとめをすることが多いが、東南アジア青年の船ではプログラムの様々な場面で、各々が自分の判断で積極的にリーダーシップを発揮していたため、その際に身につけた経験と自信が今の仕事の進め方において大いに活かしていると感じる。
 - * 外資系の企業で多国籍のスタッフの中で日々仕事をしており、相手との相互理解は仕事の根本であり、事後活動でのファシリテーターの経験も含め、内閣府事業への参加経験がそのまま仕事に役立っています。
- ・最も意義があった経験：仕事以外の社会貢献活動(ボランティア活動等)や地域活動でリーダーの立場に立ったことがある
 - * 国外の貧困層向けの学校を支援する団体でリーダーを務めた。外国人とのコミュニケーションやプロジェクトを行なう際の意思決定などにおいて、内閣府事業参加での経験(コミュニケーション能力、異文化理解)が役立った。
 - * 役員として団体運営を体験する経験 自分の価値観のベースになっているという意味で、役立っている
 - * 地方で国際交流や国際協力に関心がある学生に対して、セミナーを開いたり、海外の話をする機会を作れた事。世界青年の船を通して自分が実際に異文化での葛藤や、異文化理解の大切さを経験した経験があるからこそ、その経験をベースにして各種異文化理解セミナーを実施できていると思う。
- ・最も意義があった経験：起業した経験がある
 - * 私塾業を始める。私教育で国際交流事業への意欲関心を生徒に伝える役割が得られた。
 - * 専門職事務所の立ち上げ、経営。多様な価値観の調整、リーダーとしての自覚等。
 - * 産後女性をサポートする活動を個人事業主として行っている。その際、内閣府事業への参加で体験した「自発的に行動する」「考え方の異なる大勢の人と接して理解し合う」という経験が非常に役に立っている。
- ・最も意義があった経験：国内の社会貢献活動(ボランティア活動等)や地域活動を立ち上げたことがある
 - * 大学生として大学教育の在り方を問い直し、改革プロジェクトを発足したこと。チーム運営やモチベーション維持、粘り強さ等の内閣府事業で養ったものが役立っている
 - * 周囲に呼びかけ、サークルを作ったこと。自分が主体となって新しいことを始めるのに抵抗やためらいが無かった。
 - * 子どもたちに地域の歴史を伝えるための本を作成し、それを活用する活動をしていること。内閣府事業の経験は、「funny way」が大切、とある外国人青年が言っていたが、その考え方が役に立っている。
- ・最も意義があった経験：国際的な社会貢献活動(ボランティア活動等)を立ち上げたことがある
 - * 訪問地の難民キャンプへの物資援助：訪問地で知り合いになった NGO 団体に物資を託し、現地で配布してもらった。企業をまわり援助の要請をすることは内閣府事業で得たスキルだと感じている。また、送達などについては前職の知識が生かされている。

- *国際協力 NGO に所属し、事業リーダーとしてカンボジアでの学校建設を中心になって行なった。海外における異文化の人々との調整や交渉、コミュニケーション、積極的に意見を言うことなど、内閣府事業に参加した経験が役に立った。
- *ミャンマーでのサイクロン被害支援団体を一から立ち上げ、東京での募金活動や現地での物資配給支援を行った。その後も活動で関わったミャンマー人達と連絡を取り合っている。世界青年の船での経験は人との繋がりを大事にすることを学ばせてくれたように思う。従って、支援の内容ももちろん真剣に行くが、それ以外にも一緒に活動した人との事後交流を大事にしている。

・最も意義があった経験:その他リーダーシップを発揮した経験を持っている

- *NPO 日本ファシリテーション協会の定例会で 4 時間半のワークショップを数回主宰している。事業参加で得た問題意識である「その場に集まった人々の能力を十分に発揮してもらい、みんなの満足や成果物の質を高めるには？」を追求している。
- *私が千葉県青年国際交流機構（千葉 IYE0）の活動に関与した当初は、組織としての枠組みはあったものの活動実態がほとんど無いに等しい状況であった。そこで、自ら千葉県在住の内閣府青年国際交流事業の既参加青年の掘り起しに努めるほか、他県から新たに千葉県へ転居してきた既参加青年を知人友人に紹介してもらい役員に就けて協力を求めるなど、ほぼゼロからの組織づくりを行った。集まったのは私よりも 10 歳以上若い世代であった。しかしながら、世界青年の船事業において、自分より若い世代との協力関係を築く方法を学んでいたことから、次第に若者が定着するようになり、千葉県内の他のボランティア団体と共同でお茶会企画を開催できるまでになった。若者が千葉県青年国際交流機構のような団体に定着してもらうには、適度な距離を保ちつつも声かけと対話を欠かさないことが必要だと知った。
- *幹事としては、300 名程度への連絡から企画、同日の進行等、自分が中心になって指示をしないと動かない状態でした。世界船でも、委員会やクラブ活動、グループ活動は自分たちで企画するが、乗船前はそれぞれ別々の地域に住んでおり、コミュニケーションなどで、苦労しました。同窓会でも、私は地元にはいなかったため、それぞれ集まりにくい環境の中で、いかに連絡をとりあい、スケジュールを組み、実行するか等役立ったと思います。

その他国際交流事業参加者 意見例

・最も意義があった経験:議員や企業・団体役員・大学教授等のポジションに就いたことがある

- * 具体的内容:大学において、国際交流に関連した知見を授業に取り入れている。 役立った経験:台湾の大学や大学院生についての知見を深めたこと
- * 具体的内容:外国人とのコミュニケーションに障壁を感じないこと、役立った経験:長時間の英語のみでの生活
- * 具体的内容:若年層に視野を広く持ち、見分を高めることの意義を説得力を持って話すことができた。 役立った経験:人生における人脈づくり。

・最も意義があった経験:仕事で管理職やプロジェクトリーダー等、リーダーシップを発揮した経験がある

- * 具体的内容:外国人とのコミュニケーションに抵抗感がなかったこと 役立った経験:留学生と日本人学生との取りまとめ
- * 具体的内容:後進育成につながっている。また人材獲得(リクルート活動)に役立っている。 役立った経験:先輩だけでなく、会社説明会にきてくれた人に自らの経験を伝える。
- * 具体的内容:日本では当たり前に進むべきところで、問題が発生したり、日本の常識は通用しない場合の解決方法など。 役立った経験:許容が広がったのと、コミュニケーションの工夫でかなりの問題が解決した

・最も意義があった経験:仕事以外の社会貢献活動(ボランティア活動等)や地域活動でリーダーの立場に立ったことがある

- * 具体的内容:日本以外の考え方も理解を示していることを表面に出さなければ独裁的にとられる。役立った経験:外国人に対しては、頭の中で考えたこと思ったことをしっかりと口にしないといけない。
- * 具体的内容:日本人と外国人の方でみんなが楽しめるカフェを考えて、経営する。役立った経験:日本も外国人の方もみんなが気持ちよく過ごせる環境を自然に考えられるようになった。
- * 具体的内容:イベント等を開催にあたりリーダーシップをとれた。 役立った経験:色々な意見をまとめてうまくまとめることができた。

・最も意義があった経験:起業した経験がある

- * 具体的内容:ものおじせず初対面の方に話しかける経験、営業するには必要な話しかける能力。役立った経験:気負いせず飛び込み営業をすることができました。
- * 具体的内容:外国の方とのディスカッション、役立った経験:日本の文化を海外に発信する仕事をした際に役に立った
- * 具体的内容:日本人としての誇り、役立った経験:それまで外国人に対して苦手意識が、あったのですが、無くなりました。

- ・最も意義があった経験:国内の社会貢献活動(ボランティア活動等)や地域活動を立ち上げたことがある
 - * 具体的内容:自分に自信がつき物事に対して積極的に取り組むことができるようになった。役立った経験:みんなの意見を集約することができた。
 - * 具体的内容:フィリピンのゴミ山で暮らす人々の暮らしを改善する活動。役立った経験:実際に現地を訪問していたことで、他人に伝える活動をするときに説得力のある伝え方ができた。
- ・最も意義があった経験:国際的な社会貢献活動(ボランティア活動等)を立ち上げたことがある
 - * 具体的内容:本当に必要な国際支援とは何なのであるのかを深く考えさせられ、自発的な勉強に繋がった。役立った経験:外国の方が困っている時に気軽に話しかけられるようになった。
- ・最も意義があった経験:その他リーダーシップを発揮した経験を持っている
 - * 具体的内容:政治家、日米の官僚、アカデミックな世界の教授陣、名だたる経営者達、現地の方々、現地で指導をされている実務を請け負うボランティアや行政の方とチュラロコン大学の教授など、皆さん方と活発な意見を交わす事が出来た事が大きな自信となり、仕事に目標を立て、遂行度合い(進捗度合い)をチェックしながら、計画通りに目標を上回る達成と収益を出す事を覚えたから。役立った経験:物怖じしない事。人の意見に耳を傾け、自分の意見との相違を見つけ、より良い方向で、みんながやろうとしている、有益で紅葉が最大となる ODA 人的資源への海外援助の模索へのディベートや日米両国の政府への提言や考察は、その後のアジアの発展に大きく寄与し、日本企業の会いがい進出にも繋がっている。
 - * 具体的内容:文化の違いを経験したこと。たとえば家を買うのが一生の大きな買い物という考え方は無くなり、自分で中古の家を改築して住む事が楽しいことや、食器は効率的に食器洗い機で洗って夫婦で楽しむ時間を増やすことが楽しい等、考え方が変わった。役立った経験:国際交流事業に参加したことで自分の意見をハキハキ言えるようになり、就職氷河期に多数の大手企業に内定を頂きました。そのうちの1企業に入社した後、現在起業して事務所を経営しております。会社に依存しないという考えを持ってたのも、国際交流のお陰だと思えます。

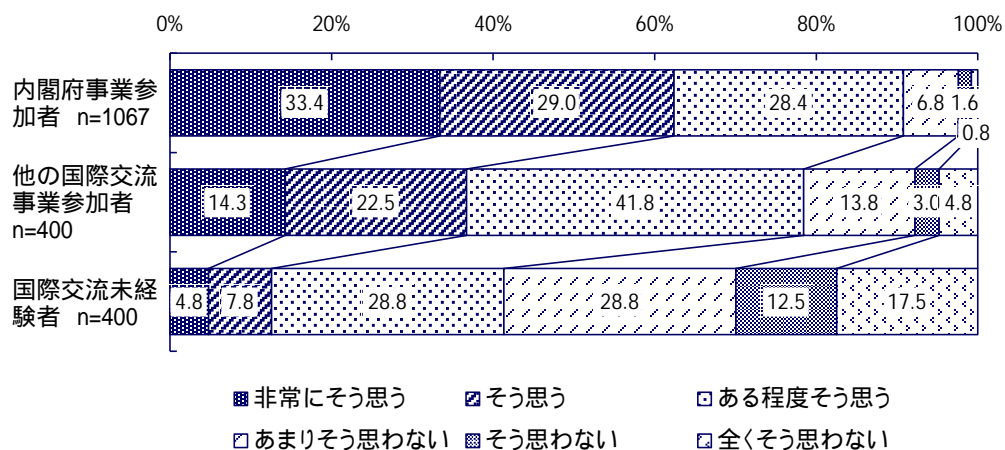
国際交流未経験者 意見例

- ・最も意義があった経験:議員や企業・団体役員・大学教授等のポジションに就いたことがある
 - *重要な仕事を任されていた
 - *地域との交流が得られた
- ・最も意義があった経験:仕事で管理職やプロジェクトリーダー等、リーダーシップを発揮した経験がある
 - *小売店の店長として仕事に従事したこと
 - *プロジェクトリーダーに抜擢され色々な経験を積めたから
 - *小さい現場ながら責任者として工事を行なった。仕事自体は大きくはないが非常に重圧を感じた。
- ・最も意義があった経験:仕事以外の社会貢献活動(ボランティア活動等)や地域活動でリーダーの立場に立ったことがある
 - *カウンセリングを主としているボランティア。地域の中学校・高校をメインに、自己肯定感を養うようなプログラムを計画し、実際に実施することがありました。
 - *手話サークルで代表をしたこと。
- ・最も意義があった経験:起業した経験がある
 - *再就職で就活したが、20社近く落ちたので自分で事業を起こした。会社勤務で縛られることなく、自分の好きなことを仕事にできた意義は大きい。在宅勤務なので、通勤時間のロスも無く時間を有効に使える。
 - *選ぶ相手を間違え、とんでも無いことになる、理想通りが無理だからといって、それを曲げると、より悪い結果が待っている
- ・最も意義があった経験:国内の社会貢献活動(ボランティア活動等)や地域活動を立ち上げたことがある
 - *セラピストという手に職を持って起業し、自宅を中心にレッスンやセラピスト養成講座を開講している。
- ・最も意義があった経験:国際的な社会貢献活動(ボランティア活動等)を立ち上げたことがある
 - *交流サークルへの参加
- ・最も意義があった経験:その他リーダーシップを発揮した経験を持っている
 - *チームをまとめた経験
 - *副店長として、店長とスタッフとの間をつないでいました。

(10) キャリアや人生を主体的に切り拓いてきたと感じているか

問 28 あなたはこれまで、ご自身のキャリアや人生を主体的に切り拓くことができたと感じていますか。(は1つ)

図表 6-26 キャリアや人生を主体的に切り拓いてきたと感じているか



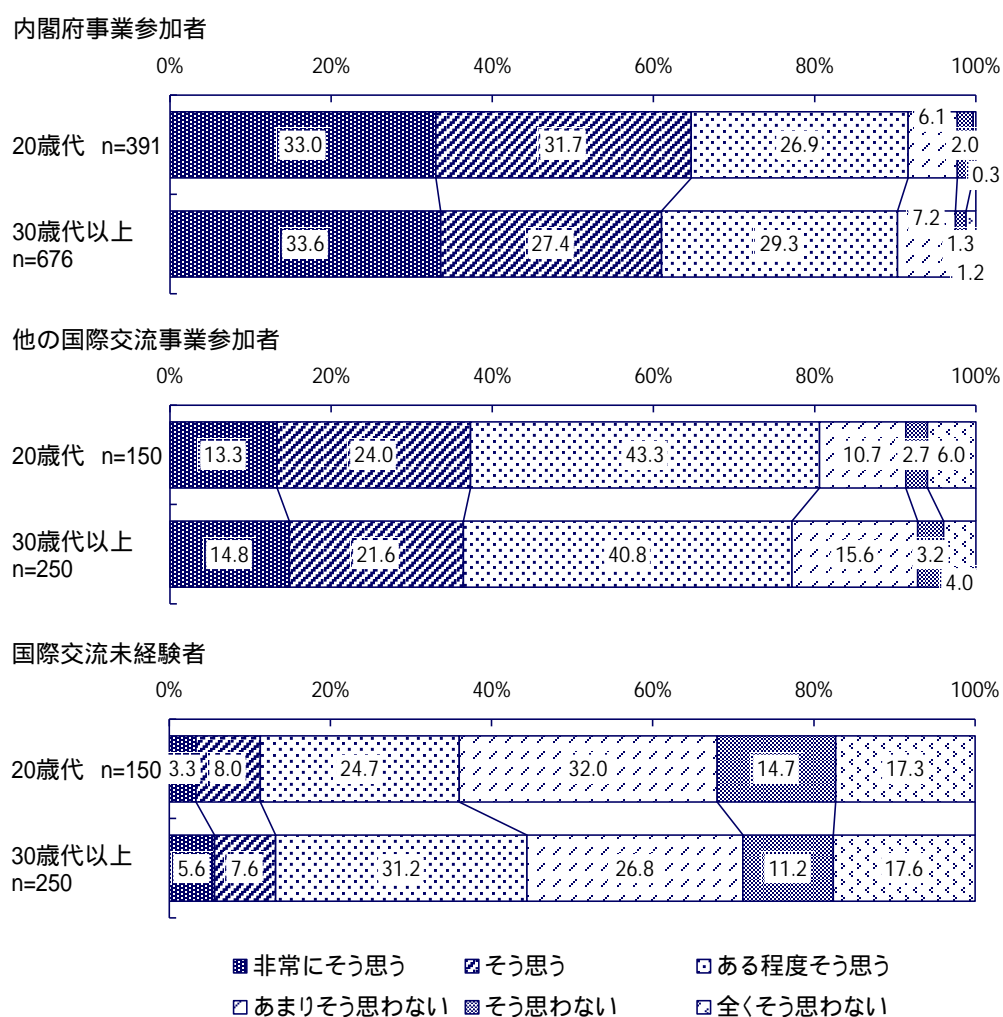
自身のキャリアや人生を主体的に切り拓くことができたと感じているか聞いたところ、「非常にそう思う」は内閣府事業参加者が 33.4%、他の国際交流事業参加者が 14.3%、国際交流未経験者が 4.8% で、「そう思う」を合わせると各 62.3%、36.8%、12.5%となる。

< 検定結果 >

	内閣府 他の事業	内閣府 未経験者	他の事業 未経験者
図表6-26	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01

「非常にそう思う」+「そう思う」、それ以外の2カテゴリーで計算。

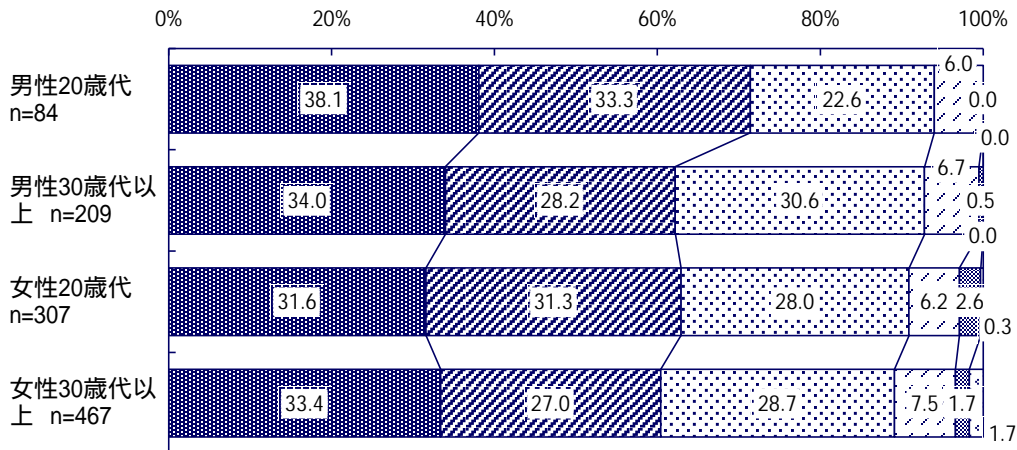
図表 6-27 キャリアや人生を主体的に切り拓いてきたと感じているか <年齢階級別>



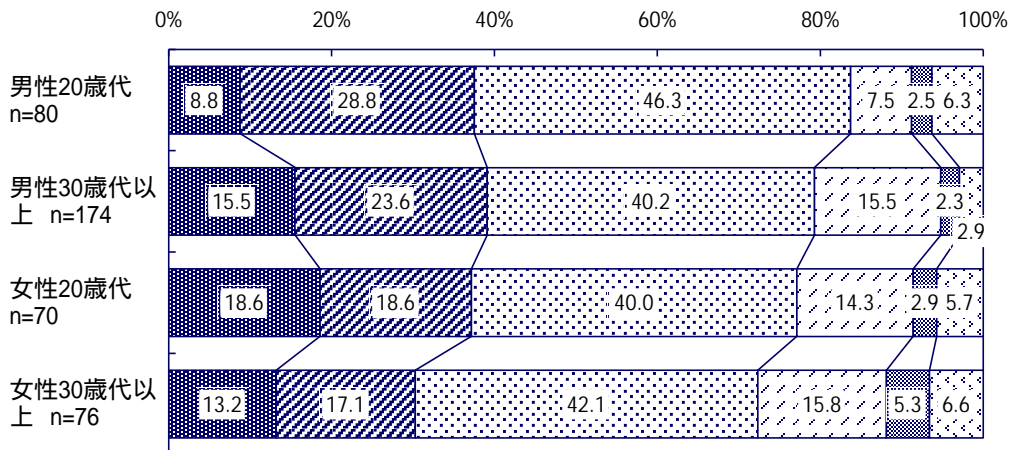
自身のキャリアや人生を主体的に切り拓くことができたと感じているかについて年齢階級別に見ると、「非常にそう思う」は内閣府事業参加者の20歳代で33.0%、30歳代以上で33.6%と割合が高くなっている。他の国際交流事業参加者では20歳代が13.3%、30歳代以上が14.8%となっている。

図表 6-28 キャリアや人生を主体的に切り拓いてきたと感じているか <性年齢別>

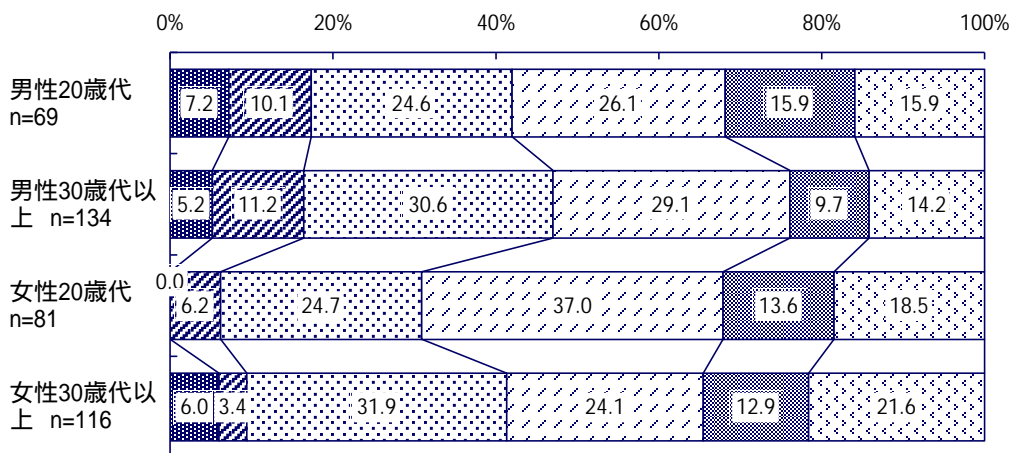
内閣府事業参加者



他の国際交流事業参加者



国際交流未経験者

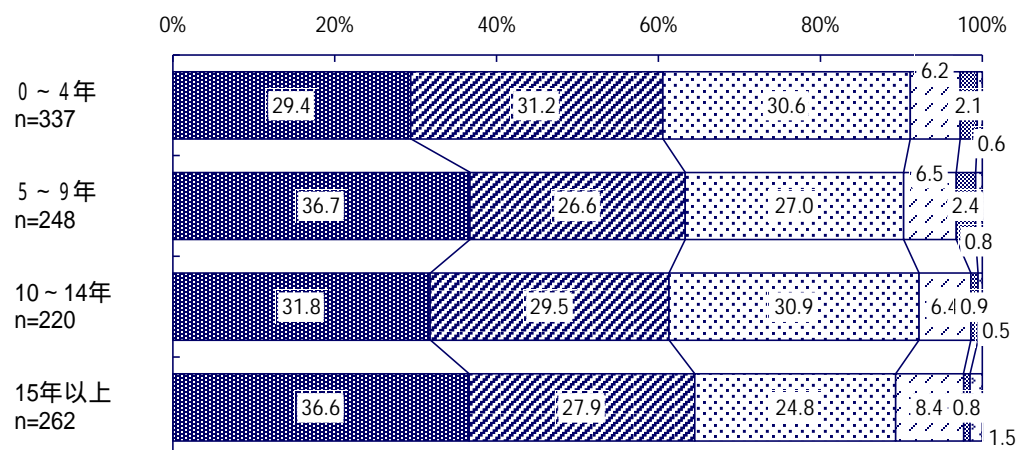


■非常にそう思う ■そう思う □ある程度そう思う □あまりそう思わない ■そう思わない □全くそう思わない

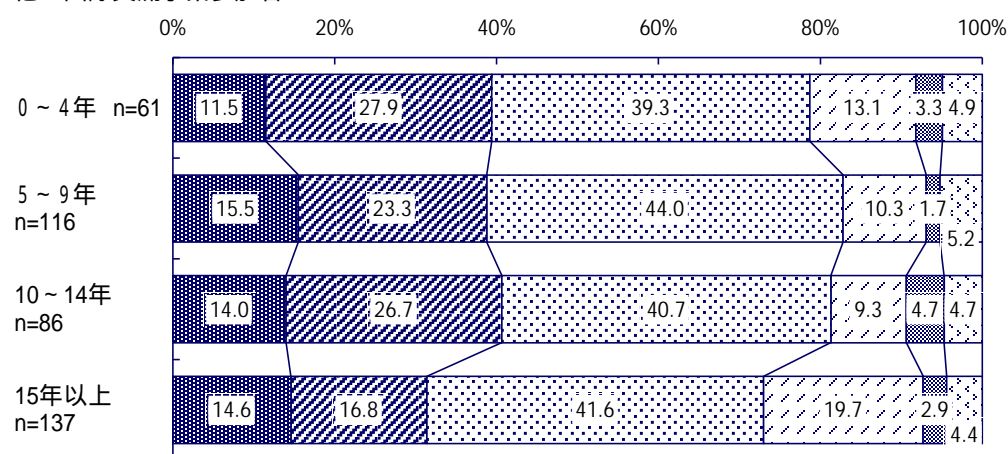
自身のキャリアや人生を主体的に切り拓くことができたと感じているかについて性年齢別にみると、「非常にそう思う」は内閣府事業参加者で3～4割、他の国際交流事業参加者で1～2割を占めている。

図表 6-29 キャリアや人生を主体的に切り拓いてきたと感じているか<参加からの期間別>

内閣府事業参加者



他の国際交流事業参加者



■非常にそう思う ■そう思う ■ある程度そう思う ■あまりそう思わない ■そう思わない ■全くそう思わない

自身のキャリアや人生を主体的に切り拓くことができたと感じているかについて参加からの期間別にみると、「非常にそう思う」は内閣府事業参加者の5～9年で36.7%、15年以上で36.6%、他の国際交流事業参加者の5～9年で15.5%などとなっている。